

令和元年度第2回龍ヶ崎市廃棄物減量等推進審議会次第

日 時：令和2年1月27日（月）

午後3時00分から

会 場：龍ヶ崎市役所本庁舎

5階全員協議会室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 土浦市におけるごみ処理有料化導入後の事例研究 資料1

(2) その他 資料2

4 閉 会

【配布資料】

- ・ 座席表
- ・ 資料1 土浦市におけるごみ処理有料化導入後の事例研究
- ・ 資料2 龍ヶ崎市指定ごみ袋の価格改定について

土浦市におけるごみ処理有料化導入後の事例研究

■調査の目的・趣旨

龍ヶ崎市のごみ排出量は、人口が減少している中、ほぼ横ばい若しくは微減で推移しており、全市を挙げた様々なごみ減量に関する取り組みを行っているものの、十分なごみの減量化・資源化に至っている状況になく、ごみ処理費用等も年々増加傾向にあります。

このことから、全国的にも一定のごみの減量効果が認められる「家庭ごみ処理の有料化」について、将来のごみ減量とごみ処理費用等の財政負担の軽減など、ごみ処理を取り巻く様々な課題に対応するため、当市においても先進事例の調査・研究を行っているところです。

今回は、平成 30 年度第二回の本審議会において事例研究を行い、有料化導入後 1 年を経過した土浦市(平成 30 年 10 月 1 日導入)について追跡調査を行いました。

(1) 家庭系一般廃棄物の排出量について

■燃やせるごみの推移

	H29.10月	H29.11月	H30.10月	H30.11月	R元.10月	R元.11月
回収実績	2032t	1984t	1697t	1512t	1734t	1567t
前年同月比			▲335t (▲16.49%)	▲472t (▲23.79%)	+37t (+2.18%)	+55t (+3.64%)
前々年度同月比					▲298t (▲14.67%)	▲417t (▲21.02%)

■燃やせないごみの推移

	H29.10月	H29.11月	H30.10月	H30.11月	R元.10月	R元.11月
回収実績	169t	173t	124t	117t	144t	130t
前年同月比			▲45t (▲26.63%)	▲56t (▲32.37%)	+20t (+16.13%)	+13t (+11.11%)
前々年度同月比					▲25t (▲14.79%)	▲43t (▲24.86%)

■容器包装プラスチックの推移

	H29.10月	H29.11月	H30.10月	H30.11月	R元.10月	R元.11月
回収実績	66t	71t	100t	95t	106t	84t
前年同月比			+34t (+51.52%)	+24t (+33.80%)	+6t (+6.00%)	▲11t (▲11.58%)
前々年度同月比					+40t (+60.61%)	+13t (+18.31%)

■生ごみの推移

	H29.10月	H29.11月	H30.10月	H30.11月	R元.10月	R元.11月
回収実績	408t	398t	442t	438t	405t	400t
前年同月比			+34t (+8.33%)	+40t (+10.05%)	▲37t (▲8.37%)	▲38t (▲8.68%)
前々年度同月比					▲3t (▲0.73%)	+2t (+0.50%)

■ペットボトルの推移

	H29.10月	H29.11月	H30.10月	H30.11月	R元.10月	R元.11月
回収実績	21t	19t	25t	22t	24t	24t
前年同月比			+4t (+19.05%)	+3t (+15.79%)	▲1t (▲4.00%)	+2t (+9.09%)
前々年度同月比					+3t (+14.29%)	+5t (+26.32%)

■缶類の推移

	H29.10月	H29.11月	H30.10月	H30.11月	R元.10月	R元.11月
回収実績	22t	21t	27t	25t	25t	26t
前年同月比			+5t (+22.73%)	+4t (+19.05%)	▲2t (▲7.41%)	+1t (+4.00%)
前々年度同月比					+3t (+13.64%)	+5t (+23.81%)

■ビン類の推移

	H29.10月	H29.11月	H30.10月	H30.11月	R元.10月	R元.11月
回収実績	52t	52t	52t	49t	45t	54t
前年同月比			±0t (0.00%)	▲3t (▲5.77%)	▲7t (▲13.46%)	+5t (+10.20%)
前々年度同月比					▲7t (▲13.46%)	+2t (+3.85%)

■布類の推移

	H29.10月	H29.11月	H30.10月	H30.11月	R元.10月	R元.11月
回収実績	11t	11t	19t	17t	14t	19t
前年同月比			+8t (+72.73%)	+6t (+54.55%)	▲5t (▲26.32%)	+2t (+11.76%)
前々年度同月比					+3t (+27.28%)	+8t (+72.73%)

■紙類の推移

	H29.10月	H29.11月	H30.10月	H30.11月	R元.10月	R元.11月
回収実績	56t	65t	84t	65t	61t	70t
前年同月比			+28t (+50.00%)	±0t (0.00%)	▲23t (▲27.38%)	+5t (+7.69%)
前々年度同月比					+5t (+8.93%)	+5t (+7.69%)

■ごみ処理施設への直接搬入

		H29.10月	H29.11月	H30.10月	H30.11月	R元.10月	R元.11月
搬入実績	(可燃)	111t	115t	149t	131t	148t	157t
	前年同月比			+38t (+34.23%)	+16t (+13.91%)	▲1t (▲0.67%)	+26t (+19.85%)
	前々年度同月比					+37t (+33.33%)	+42t (+36.52%)
	(不燃)	20t	19t	31t	26t	28t	28t
	前年同月比			+11t (+55.00%)	+7t (+36.84%)	▲3t (▲9.68%)	+2t (+7.69%)
	前々年度同月比					+8t (+40.00%)	+9t (+47.37%)

(2) 家庭系一般廃棄物のごみ処理経費について

■ごみ収集運搬委託料

(単位:円)

委託の種類	委託料(H29)	委託料(H30)	委託料(R元・H31)
可燃・生ごみ・容器包装プラスチック	411,648,480	411,648,480	415,460,040
不燃	28,748,245	28,748,582	29,014,773
資源物(5種10品目)*1	196,992,000	198,288,000	200,124,000
資源物(ペットボトル)	7,128,000	7,776,000	7,848,000
新治地区 *2	31,104,000	30,909,600	31,849,800
合計	675,620,725	677,370,662	684,296,613

*1 5種10品目はビン(白・茶・緑・その他の色)・缶・紙類(新聞・段ボール・ざつ紙)・古布・乾電池を指します。

*2 新治地区については、各業者(2業者)が全種類のごみを収集しております。

■収集回数(有料化導入前後の収集回数の変化は無し)

	地区別収集回数
燃やせるごみ	週2回
燃やせないごみ	土浦地区:週1回、新治地区:月2回
生ごみ	週2回
容器包装プラスチック	土浦地区:週1回、新治地区:月2回
ペットボトル	土浦地区:月2回、新治地区:月2回
古布	土浦地区:月2回、新治地区:月2回
缶	土浦地区:月2回、新治地区:月2回
ビン	土浦地区:月2回 新治地区:月3回(ビンの色で排出)
紙類	土浦地区:月2回(新聞・ダンボール・ざつ紙) 但し、新治地区は、紙の種類によって収集を行うので、週1回の収集となる

(3) 指定ごみ袋について

■旧指定袋について

- ①旧指定ごみ袋の種類と容量(可燃・不燃 各 20 リットル・40 リットル)
- ②旧指定ごみ袋の種類別販売価格()
- ③旧指定ごみ袋の種類別 H29 製造委託料()
- ④旧指定ごみ袋の種類別製造枚数()
- ⑤旧指定ごみ袋の種類別販売収入及び出荷数()

→※旧指定袋は自由流通方式だったため、②～⑤については把握していません

■指定ごみ袋製造委託料, 製造数(ごみ処理有料化導入後)

	製造委託料(単位:千円)		製造枚数	
	H30	H31	H30	H31
大袋(可燃ごみ)	36,666	15,129	3,303,200	1,350,800
中袋	(可燃)	26,560	4,242	3,200,000
	(不燃)	8,313	2,152	955,500
小袋	(可燃)	8,262	2,809	1,377,000
	(不燃)	5,670	0	900,000
合計	85,471	24,332	9,735,700	2,560,800

■指定ごみ袋の販売収入, 出荷数

	指定ごみ袋の販売収入(単位:千円)		出荷数	
	H30	H31(4～10月まで)	H30	H31(4～10月まで)
大袋(可燃ごみ)	111,800	100,080	2,236,000	2,001,600
中袋	(可燃)	52,170	42,615	1,739,000
	(不燃)	21,150	8,055	705,000
小袋	(可燃)	13,050	10,088	870,000
	(不燃)	7,650	2,085	510,000
合計	205,820	162,923	6,060,000	4,502,100

■平成 30 年 10 月の有料化以前のごみ袋の管理・配送方法等

- 直営(管理方法:)
- (配送方法:)

- 委託(委託先: 委託料:)
- (管理方法:「土浦市統一指定ごみ袋の認定基準」に基づき、認定を受けた複数の事業者が製造・流通などを行う)
- (配送方法:)

■平成 30 年 10 月の有料化以降のごみ袋の管理・配送方法等

- 直営(管理方法:)
- (配送方法:)

☑委託

委託先:製造…(株)内田化工 ・ 受注業務…G-place(株)

委託料(H30年度): 製造…1枚当たりの単価 可燃 15リットル 6円、30リットル 8.3円、45リットル 11.1円 不燃 15リットル 6.3円、30リットル 8.7円

受注業務… 12,384,252円)

委託料(H31年度): 製造…1枚当たりの単価 可燃 15リットル 6.1円、30リットル 8.4円、45リットル 11.2円 不燃 15リットル 6.4円 30リットル 8.8円

受注業務…16,284,600円)

(管理方法:管理、受注、配送等を一括で G-place(株)に委託している)

(配送方法:

(4) ごみ処理有料化以降について

■ごみ処理有料化(可燃・不燃ごみ)に対する市民からの苦情・意見

- ・有料化を実施すると不法投棄が増加するのではないか
- ・1リットル当たり1円の価格設定は負担が大きい
- ・資源物の収集頻度を増やしてほしい
- ・有料化の効果・費用、有料化による料金収入の用途等を詳しく説明してほしい

■平成30年10月のごみ処理有料化前後のポイ捨ての状況、ポイ捨ての内容

- ・有料化前後でのポイ捨ての量の大きな変化は無し

■平成30年10月のごみ処理有料化前後の不法投棄の状況、不法投棄の内容

- ・有料化前後で不法投棄の量の大きな変化は無し

■平成30年10月のごみ処理有料化以降のポイ捨て、不法投棄等の抑制策や取り組み

- ・不法投棄防止看板の配布
- ・不法投棄・ポイ捨て防止のパトロール(有料化後の平成30年10月～31年3月が中心)
- ・市民の方からの情報提供の呼びかけ

■平成30年10月のごみ処理有料化後、1年を経て発生した課題や改善点、今後の取り組み(課題)

- ・有料化に伴い、指定袋でなくても出せる容器包装プラスチック・紙類等の収集量が増加したが、リサイクルに適さないものの混入が増加した

(改善点)

- ・可不燃ごみの減量

(今後の取り組み)

- ・引き続き分別・ごみの減量についての広報啓発を継続する
- ・事業系ごみの減量への取り組みを強化する

(5) 調査結果からの考察

- 可燃ごみ・不燃ごみともに、有料化導入後1年経過時点で大きくリバウンドが大きく見られたが、翌月には有料化導入直後と同水準(以下)に戻っていることから、「ごみ減量」に一定の効果があったものと見られる。

- 有料化導入後、指定袋でなくても出すことができる容器包装プラ・紙類・布類の排出が増加しており、分別排出が進んでいるものと考えられ、ごみ処理有料化による「分別による適正排出」に一定の効果が見られる。
- 有料化導入後、指定袋でなくても出すことができるごみ処理場への直接搬入が可燃ごみ・不燃ごみともに増加している。
- 土浦市の家庭ごみ処理の有料化は、排出量単純比例型(ごみ袋にごみ処理手数料が上乗せされる方式)を採用しているため、ごみ処理手数料を含んだ指定ごみ袋の販売収入が年間2億円程度となり、指定ごみ袋の製造委託料を差し引いても、膨大なごみ処理費用等の財政的負担の軽減につながっているものと思われる。

(6) 追跡調査後の当市の検討について

今回の土浦市におけるごみ処理有料化後の追跡調査を行った結果、有料化導入前後を比較すると、ごみの排出量が大幅に減少しており、一時的なリバウンドが見受けられるものがあるものの、現状では心配されていた継続的なリバウンドやポイ捨て・不法投棄なども見られず、概ね家庭ごみの排出抑制と適正な分別が行われているものと思われます。

このため、当市においても4R を念頭に置いたごみの減量や増大するごみ処理費用等の財政負担の軽減など、龍ヶ崎市が抱えるごみ処理を取り巻く様々な課題を解消するための一つの手法として、今後も先進事例の調査・研究に努めるものとします。

龍ヶ崎市指定ごみ袋の価格改定について

(1)茨城県内の指定ごみ袋の料金

	可燃(大)	可燃(中)	可燃(小)	不燃(大)	不燃(中)	不燃(小)		可燃(大)	可燃(中)	可燃(小)	不燃(大)	不燃(中)	不燃(小)
古河市	0円	0円	0円	0円	0円	0円	■茨城町	200円	150円	－	－	－	－
結城市	0円	0円	0円	0円	0円	0円	■大洗町	200円	180円	150円	－	－	150円
坂東市	0円	0円	0円	0円	0円	0円	■東海村	200円	150円	100円	200円	150円	100円
かすみがうら市	0円	0円	0円	0円	0円	0円	利根町	－	200円	120円	－	200円	120円
五霞町	0円	0円	0円	0円	0円	0円	稲敷市	205円	110円	－	－	110円	－
境町	0円	0円	0円	0円	0円	0円	美浦村	205円	205円	－	－	110円	－
阿見町	90円(税別)	70円(税別)	60円(税別)	－	80円(税別)	65円(税別)	■潮来市	250円	－	－	－	－	－
龍ヶ崎市	110円	－	70円	－	90円	80円	■城里町	270円	－	－	－	－	－
牛久市	121円	97円	87円	－	111円	93円	■水戸市	300円	150円	100円	300円	150円	100円
神栖町	125円	95円	60円	125円	95円	60円	■日立市	300円	－	－	－	90円	－
大子町	125円	－	90円	－	－	－	■高萩市	300円	－	－	300円	－	－
桜川市	140円	120円	100円	－	120円	－	■北茨城市	300円	200円	150円	－	－	－
鹿嶋市	146円	－	－	146円	－	－	■常陸太田市	300円	－	150円	－	－	－
石岡市	150円	120円	80円	－	－	－	■土浦市	500円	300円	150円	－	300円	150円
■常陸大宮市	150円	－	－	－	－	－	■下妻市	500円	－	－	－	500円	－
■河内町	150円	－	－	150円	－	－	■八千代町	500円	－	－	－	500円	－
那珂市	150円(税別)	－	－	－	－	－	取手市						
■行方市	180円	150円	－	－	－	－	守谷市	※網掛けの自治体については、常総広域の処理の為、ごみ袋を					
■笠間市	200円	－	100円	200円	－	100円	つくばみらい市	自治体で作らず、自主流通制を採用しているため、価格につい					
■ひたちなか市	200円	－	－	200円	－	－	筑西市	ては確認不可。概ね100円～200円台となっている。					
鉾田市	200円	170円	－	200円	170円	－	つくば市						
■小美玉市	200円	150円	－	－	－	－	常総市	※石下地区は常総広域の処理ではないため、可燃・不燃とも500円(1袋10枚)					

※40ℓ以上：大、30ℓ以上：中、30ℓ未満：小で区分している ※ごみ袋の価格のみを表示。ごみ袋にごみ処理費用が上乗せされている場合がある。

※■：ごみ処理有料化の導入自治体

※ゴミ袋の販売単位(1枚売り、1袋10枚、1袋20枚等)が違うため、1袋10枚と仮定して表記

※本データについては、H29.10.1に当課が独自調査を行ったものと、茨城県廃棄物対策課のデータ（R元.9.25現在）を合わせたもの。

■ 価格改定の理由

当市の市指定ごみ袋については、平成 8 年 7 月より消費税率の改定が行われても、現在の価格を据え置いて参りましたが、3 年に一度行っている指定ごみ袋の製造・流通等の原価計算を行ったところ、現在の価格を維持することが出来ないため、価格改定を行います。

■ 価格改定の内容

原価計算により、現在の価格を上回る分等を検討し、市指定ごみ袋に価格転嫁いたします。

■ 価格改定の時期

令和 2 年度中に価格改定を予定。

■ 価格改定後の金額

価格上昇分については、再度、詳細な計算が必要になるが、現在の価格に数十円程度価格上昇分を上乗せする予定。

■ 周知方法等

市広報紙、市公式 HP、ツイッター、チラシ(各コミセンなどに設置)などによる周知を検討中。